

ピロコッカス・フリオーサス由来の**GDP-マンノース**ピロリン酸化酵素、組換え

Cat. No. NATE-1504

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、マンノース-1-リン酸グアニリルトランスフェラーゼ (EC 2.7.7.13) は、次の化学反応を触媒する酵素です: $GTP + \alpha\text{-D-マンノース 1-リン酸} \rightarrow \text{二リン酸} + \text{GDP-マンノース}$ 。したがって、この酵素の二つの基質はGTPと $\alpha\text{-D-マンノース 1-リン酸}$ であり、その二つの生成物は二リン酸とGDP-マンノースです。

別名 GTP-マンノース-1-リン酸 グアニル基転移酵素; PIM-GMP; GDP-マンノース ピロリン酸化酵素; グアノシン 5'-ジリン酸-D-マンノース ピロリン酸化酵素; グアノシン ジリン酸マンノースピロリン酸化酵素; グアノシン 三リン酸-マンノース 1-リン酸 グアニル基転移酵素; マンノース 1-リン酸 グアニル基転移酵素 (グアノシン 三リン酸); マンノース-1-リン酸 グアニル基転移酵素; EC 2.7.7.13

製品情報

種	パイロコッカス・フリオーサス
由来	E. coli
EC番号	EC 2.7.7.13
CAS登録番号	37278-24-3
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1ユニットは、37°Cでマンノース-1-PとGTPから1 μmol のGDP-Manを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。